

1. 調査概要

1.1 調査目的

国立大学法人等の施設整備については、「第3次国立大学法人等施設整備5か年計画」（平成23年8月26日 文部科学大臣決定）において、「地球環境に配慮した教育研究環境の実現—Sustainability」が基本的考え方の1つに位置付けられ、地球環境への負荷が少なく持続的な発展を可能とするため、温室効果ガスの排出削減に向けた取組を進めることとされている。

特に、国立大学法人等の基幹設備(ライフライン)は、教育研究活動を支えるため、広大なキャンパス内の各所へ電気・水・ガス・熱源等を常時供給していることから、老朽化した基幹設備の更新によるエネルギー使用の効率化を推進し、エネルギー消費量の低減を図る必要がある。

このため、国立大学法人等の老朽化した基幹設備の更新整備による省エネルギー効果等の環境負荷低減効果を推計し、整備の成果・効果を適切に把握するためのフォローアップ指標を開発するための調査を行う。